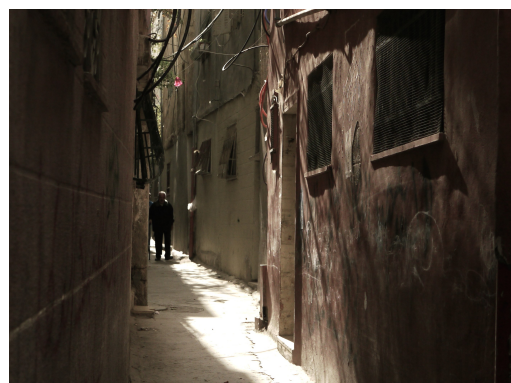




写真展

「587万分の4人、パレスチナからのメッセージ」

～世界最多の難民の、数字では見えない現在を知る～



1948年のイスラエル建国以来、70年も故郷に帰れずにいるパレスチナ難民たち。当初は約70万人だったその数は、世代を継いで約587万人まで増えています。

アメリカがエルサレムをイスラエルの首都として認定した2017年12月以降、イスラエルとパレスチナの和平交渉は、ますます先が見えなくなりました。故郷に帰ることができない難民たちは、いま何を思うのでしょうか。どんな人たちが、どうやって暮らし、何を伝えたいと願っているのでしょうか。

本写真展では、4人の難民たちのライフ・ストーリーを通じ、彼らの素顔にせまります。等身大の彼らに触れたあとには、ぜひ皆様の思いを現地に届けるノートに残してください。情勢が困難な今こそ、皆様のご参加をお待ちしています。

■日時：2018年5月19日（土）～2018年6月6日（水）※月～金：10:00～18:00 土：11:00～16:00
5月26日（土）14:00～15:30 無料イベント「体験&トーク：難民が受け継ぐパレスチナ刺繍」

■場所：聖心女子大学 4号館 聖心グローバルプラザ 1F「BE＊hive」

■アクセス：東京メトロ日比谷線広尾駅4番出口 徒歩1分

■主催：特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター（JVC）

■後援：聖心女子大学グローバル共生研究所

■展示より抜粋：



外国から来た誰かが、パレスチナ問題に触れるとき、宗教のことを話しているのを聞くと私は悲しくなります。それは本当の問題ではないからです。私は幸せに生きたいし、安全に暮らしたい。他の人よりいい暮らしをしたいなんて、思っていない。ただ子どもたちと、家族と一緒に、自由で普通の暮らしがしたいだけなのです。

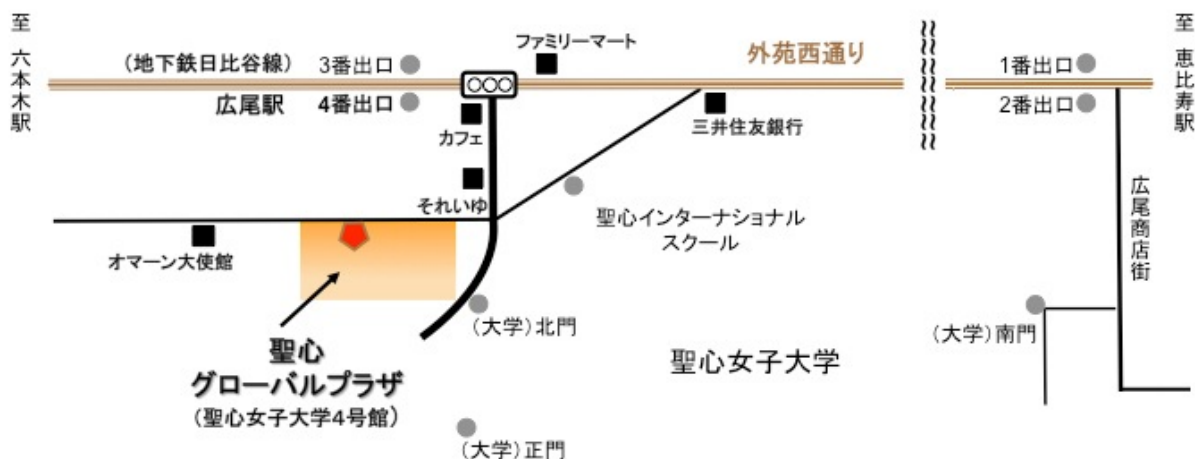
(マナールさん、38歳)

■会場アクセス：

150-8938

東京都渋谷区広尾4-2-24 聖心女子大学 4号館／聖心グローバルプラザ

東京メトロ日比谷線広尾駅 4番出口から徒歩1分



■無料イベント「体験会&トーク：難民が受け継ぐパレスチナ刺繍」 2018年5月26日（土）14:00～15:30

会場横スペースにて、パレスチナ難民の女性たちが脈々と受け継いできたパレスチナ刺繍の体験ワークショップを実施します。

現地の生産者とのビデオトーク中継も予定しております。ぜひお越しください。

先着20名様限定、参加費無料です（お気持ちでご寄付をお願いいたします）。

お申込はJVCウェブサイトか、以下まで。

03-3834-2388 / namiki@ngo-jvc.net (JVC並木)



■同時開催：日本の大学生たちが見たパレスチナの日常

パレスチナの大学に留学し、現地で暮らしてきた大学生による写真を、会場にてご紹介しています。

メディアには映らないパレスチナの日常を、写真を通じてぜひご覧ください。

■お問い合わせ

特定特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター

〒110-8605 東京都台東区上野5-3-4 クリエイティブOne秋葉原ビル6F

TEL：03-3834-2388 FAX：03-3835-0519 E-mail：info@ngo-jvc.net

http://www.ngo-jvc.net 担当：パレスチナ事業 並木

